

活動報告

新潟県厚生連臨床工学技士会

糸魚川総合病院（現 上越総合病院）透析室；臨床工学技士

いしだ しゅんたろう
石田俊太郎

2005年10月現在で新潟県厚生連臨床工学技士会は会員数35名、9施設で血液浄化療法を中心に循環・呼吸療法に関する生命維持装置の操作・保守業務を行っています。

当技士会の活動は春期・秋期研修会の定期開催、日本透析医学会学術集会や新潟透析懇話会等への参加・学術発表および各地区での勉強会等を実施し、臨床工学技士としての知識・技術向上に努めております。各方面からの御指導を何卒宜しく御願ひ申し上げます。

2005年 活動実績（個人発表を含む）

- 2月19、20日 日本HDF研究会（新潟市 朱鷺メッセ）
1 演題 発表
- 4月23日 日本農村医学会新潟地方会 第55回例会（長岡市ホテルニューオータニ）
2 演題 発表
- 6月24～26日 第50回日本透析医学会学術集会・総会（横浜市 パシフィコ横浜）
1 演題 発表
- 7月9、10日 日本透析医学会学術集会サテライト：第47回新潟透析懇話会
3 演題 発表（新潟市 朱鷺メッセ）
- 7月30日 新潟県厚生連臨床工学技士会春期研修会
（新潟県厚生連 刈羽郡総合病院）
教育講演 1 「PMX 2時間施行が有効な症例、無効な症例」
東レ株式会社 人工臓器事業部
学術・開発課 課長 森山 和広 先生
教育講演 2 「血液透析患者の栄養問題」
新潟県厚生連刈羽郡総合病院 内科部長 倉持 元 先生
- 11月（未定） 新潟県厚生連臨床工学技士会秋期研修会・総会
（新潟県厚生連 糸魚川総合病院） 内容調整中
- 学会誌投稿
「腎と透析 2004 Vol.57 別冊：HDF療法 '04」
「厚生連医誌：第15巻」